

# 麦栽培情報

【ファイバースノウ・はねうもち・福井県大3号】

## ●融雪後は、排水対策の徹底と追肥の散布で生育量を確保しましょう！

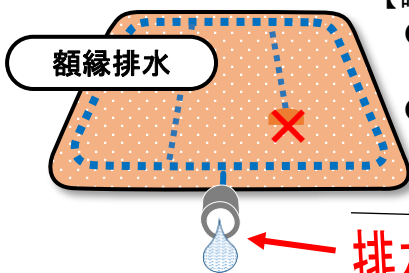
今年の1～2月は過去最大規模の寒波もありましたが、積雪としては少ない状況となっています。雪解けが始まり徐々に麦も顔を出し始めました。今後、融雪後の停滞水は生育不良に繋がります。生育不良となれば収量に大きな影響を与えることになりますのでしっかり排水溝の手直しをおこない生育回復に努めましょう。



### 排水対策のポイント

融雪後は排水溝を再確認し、土砂等で溝が埋まっている場合、至急取り除き排水を促しましょう。

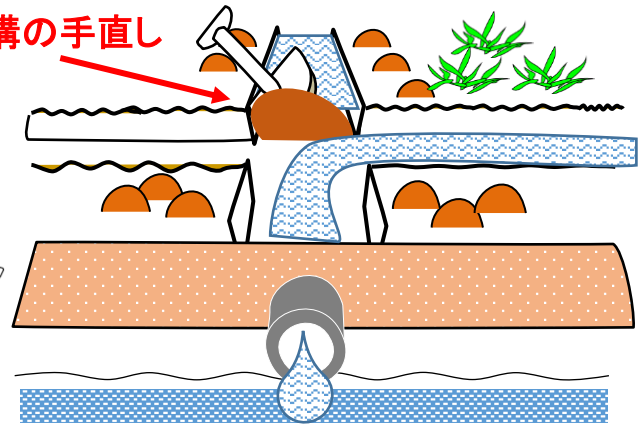
#### ①圃場巡回の実施



【確認内容】

- 排水口からしっかり排水されているか？
- 排水溝内で土砂が崩れていないか？

#### ②排水溝の手直し



### 越冬後追肥のポイント

越冬後追肥の目的は、越冬期間中の消耗からの生育回復と穂数の確保です。施肥量は越冬後の生育量から判断し、消雪後すぐ施用しましょう。

#### ①資材の準備

生育量に応じて、越冬後追肥の為、窒素肥料を準備しましょう！  
(お申し込みは、お近くの農業施設センターへ)



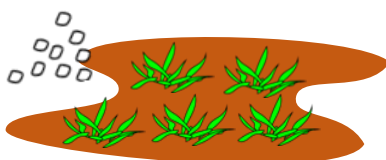
#### ②施肥量と散布時期 ※散播の場合は、担当営農指導員へお問い合わせください。

【基肥一発の場合】

草丈 (cm)	条播		散布時期
	茎数 (本/m <sup>2</sup> )	施肥量 (Nkg/10a)	
20以下	500未満	2	2月下旬～3月上旬

【分施の場合】

草丈 (cm)	条播		散布時期
	茎数 (本/m <sup>2</sup> )	施肥量 (Nkg/10a)	
20以下	600未満	4	2月下旬～3月上旬
	600～800	3	
	800以上	2	
20超	—	2	



【窒素2kg相当の肥料の施肥量は…】  
アグリフレッシュ(14-14-14)の場合 14kg/10a

排水対策と追肥で収量アップを目指しましょう。今回の『麦栽培情報』は福井基幹支店が担当しました。